

施設見学会



川越火力発電所 川越電力館テラ46

電気設備関連施設などの見学や会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会の企画による施設見学会が、11月21日（木）会員企業11社、総勢14名の参加により開催されました。

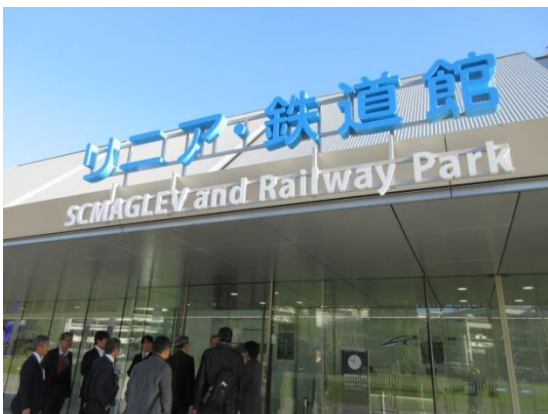
今回は、東海地方まで足を延ばして、三重県川越町にある「川越火力発電所」と発電所に隣接する「川越電力館テラ46」を見学したのち、名古屋市の「JR 東海リニア・鉄道館」を訪れました。

「川越火力発電所」では、超々臨界圧二段再熱発電方式の「1・2号機」と、1,300℃級の高効率コンバインドサイクル発電方式の「3・4号系列」による、総出力480万kWを誇る発電所の、124万㎡に及ぶ広大な敷地のなかを、職員の方の説明を受けながらバスで巡回、その後、電力館に移り、電力をはじめとするエネルギーと生活のかかわりについて学ぶ映像や展示などを見学しました。

発電所の見学は、バスの中から発電機の設置されている建屋や燃料であるLNGのタンクを見るところでしたので、電気の専門家である参加者にとっては、少し物足りなく感じられたかも知れません。これからの見学会の企画の際に考慮する視点になりました。

続いての「リニア・鉄道館」は、名前のとおり、東海道新幹線を中心にして、在来線から超電導リニアまで39両の実物車両が展示され、新幹線や在来線のシュミレーターで運転を体感、模型やパネルによって鉄道の仕組みや歴史を理解できるよう工夫のされた施設で、短い時間ではありましたが楽しい時間を過ごすことができました。

次回の見学会は令和3年の実施を予定しております。技術・安全委員会で、興味ある企画を練っていきますので、多くのご参加をお願いいたします。



JR 東海 リニア・鉄道館